

総合資源エネルギー調査会 電力・ガス事業分科会

次世代電力・ガス事業基盤構築小委員会

第2回ガス事業環境整備ワーキンググループ

議事要旨

1. 日時 令和7年10月7日(火) 15時00分～17時00分
2. 場所 経済産業省別館2階238会議室(オンライン併用)
3. 議題 ガスシステム改革の検証に係るヒアリング

4. 出席者

(ガス事業環境整備ワーキンググループ委員)

座長 山内 弘隆 一橋大学 名誉教授

秋元 圭吾 公益財団法人地球環境産業技術研究機構 システム研究グループリーダー・主席研究員

五十川 大也 大阪公立大学大学院経済学研究科 准教授

男澤 江利子 有限責任監査法人トーマツ パートナー 公認会計士

澁谷 忠弘 横浜国立大学総合学術高等研究院 教授

杉野 綾子 武蔵野大学法学部政治学科 准教授

田中 加奈子 アセットマネジメント One 株式会社

シニア・サステナビリティ・サイエンティスト

田村 多恵 みずほ銀行 産業調査部 次長

橋本 悟 青森公立大学経営経済学部経済学科 教授

原 郁子 公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会理事

平野 創 成城大学 経済学部経営学科 教授

又吉 由香 SMBC 日興証券株式会社産業・サステナビリティ戦略部 マネジング・ディレクター

松平 定之 西村あさひ法律事務所・外国法共同事業 パートナー 弁護士

松村 敏弘 東京大学社会科学研究所 教授

(ガス事業環境整備ワーキンググループオブザーバー)

梅澤 毅 株式会社 INPEX JAPAN 企画推進ユニット ジェネラルマネージャー

小野 透 一般社団法人 日本経済団体連合会 資源・エネルギー対策委員会 企画部会長代行

出口 尚平 東京電力エナジーパートナー株式会社 ガス事業部長

木村 昭彦 電気事業連合会 理事・事務局長

早川 光毅 一般社団法人日本ガス協会 専務理事

藪内 雅幸 一般社団法人日本コミュニティーガス協会 専務理事

和田 大 石油資源開発株式会社 経営企画本部 本部長補佐

伯田 有一郎 ENEOS 株式会社 ガス事業部長

田上 博道 経済産業省 電力・ガス取引監視等委員会事務局 総務課長

石津 さおり 経済産業省 大臣官房 産業保安・安全グループ ガス安全室長

経済産業省

迫田 英晴 資源エネルギー庁 電力・ガス事業部 ガス市場整備室長

5. 議事概要

- ① 事務局より、「ガスシステム改革の検証に係るヒアリング等の進め方」について資料説明を実施。その後、大阪ガス株式会社、広島ガス株式会社、東京電力エナジーパートナー株式会社、ENEOS Power 株式会社より、資料説明を実施。
- ② 委員等からの主な意見
 - カーボンニュートラルにつながる道筋を示し、燃料転換を進めていくべき。
 - ガスへの燃料転換が費用対効果の高い施策であると考える。カーボンニュートラル関連の支援策は増えているものの、効果の戦い分野への支援配分も検討すべき。
 - 水素やアンモニアは、地域によっては、導入のハードルが高い。インフラ投資に対し、支援を検討した方が良いのではないか。
 - 大規模な燃料転換を進めていく上で、サプライチェーン構築、環境整備に関する課題があるか。
 - 基地出口卸という考え方は競争促進につながると考えるが、適切であるかについてはエリア毎の検討が必要。構造的な問題がある場合は整理が必要。基地出口卸を行う場合には、小売事業者としても長期で契約を行うなど、量的な責任を求めても良いのではないか。
 - 料金メニューの多様化は、競争の成果として評価できる。
 - 競争環境について、長期的にあるべき姿を考えると、スタートアップ卸等の措置は過渡期の対応と理解しており、長期的には、新規参入者による自立的な参入が必要。
 - ガス事業の特性上、基地の機能が必要であり、基地の第三者利用等に向け、実態の調査が必要。
 - エリア毎に参入の有無に差がある状況も見られ、新規参入のボトルネック、参入障壁は具体的にどのようなものになるか。
 - 保安業界の人材不足が深刻化しており、DX 化、省人化といった対策が不可欠ではないか。特に地方の小規模事業者では、DX 投資の余力が限られるため、他業種も含めた事業者間連携や支援策の検討も必要。長期的な視点では、人材育成も重要な課題。
 - 保安業務については、ガスの方が電力よりも重要と認識しており非常にコストがかかると理解している。ガスの設備利用の望ましい形態についても議論すべき。
 - 新規参入者の参入障壁の話も合ったが、最初の参入にはサポートをするにしても、チェリーピッキングにならないような制度設計が必要。
 - 大規模災害時等においても、保安水準の低下を招かず、サービス提供を継続することが求められる。
 - 東京電力には中核事業者として、当事者意識を持ち、保安水準の向上に資する提言を期待したい。
 - マンションのオートロックの問題は対処が必要、宅配便の問題提起と横並びで解決していくのが有

用と考える。

- ロケーションスワップについては、海外パイプラインの漏洩による炭素フットプリント増加リスクへの管理強化が必要。
- 休廃止計画の公表義務化については、もっともであり、電気と横並びで考えると、ガスで要望がでてくるということは、電気も重要であると理解できる。
- 広島ガスでは、ガイドブックを作成したとのことだが、各家庭への啓発・周知をどのように行っているか。
- 大阪ガスには独自技術（バーナー開発等）を活かした高効率化へのさらなる注力を期待。

③ 事業者からの回答

- 水素利用についてはカーボンニュートラル化に有効な手段であると認識しているが、既存インフラの転用の可否等課題もあると考えている。
- ロケーションスワップについては、主に出荷基地をスワップするものであり、パイプライン輸送に関して特段の影響はないと考えている。
- 燃料転換については、価格差とインフラの問題がある。価格差については、石炭とLNGの差が拡大しており、コスト面で燃料転換の検討にブレーキがかかるケースがある。インフラについては、地方での燃料転換には大規模なサプライチェーンの整備が必要。補助金による需要家側への支援はあるが、供給側にも支援が必要。
- マンションのオートロックの問題については、一般論として課題認識はあるが、現時点では大きな問題とは認識していない。
- 広島地区の特徴として、天然ガスエリアが点在しており、それを導管で結ぶ必要がある。需要の規模や、点在状況にもよるが、今後も最適化を検討していく。
- 燃料転換に関しては、工期が複数年に渡ったり、需要家にもインフラ設置の負担をお願いするケースがあったりするので、インフラ整備を後押しする支援を検討いただきたい。
- 保安に関し、ガイドブックについては、HPでの公表、保安点検時の配布等幅広く周知を進めている。
- 保安業務の人員確保の具体的な対策については、平時については整っている。特に開栓については、いつ要望があるかわからない面があるので、計画的な体制が取りづらい。繁忙期を見据えて、他業種への声掛け等も行っている。体制については、直営社員を育成し、資格の取得等、丁寧に教育をして対応している。
- エリア参入のボトルネックについて、保安システムが整っていないとエリア参入は困難。セキュリティシステムの固定費に対して、エリア毎のマーケットの規模を見極めている。新規参入となると、なかなか固定費を賄えない場合もあり、卸の単価の条件と、マーケットの規模を見合いに判断している。
- 中核事業者としての提言については、現状では、今あるルールで保安ができる体制を整備することにとどまっている。開栓調査等、遠隔での対応が可能となる法整備を期待している。
- 卸料金については、一般的には、大口であれば安く、小口であれば高くなるが、既存の卸価格は小口の小売料金から逆算して提案するスタイルが主流と理解している。
- 新規参入がないエリアについては、マーケットの規模感が課題と認識している。

- 保安業務については、通常時と大規模災害時で分けて整理すべきだと考えている。通常時は、業務委託をしており、対応ができている状況。災害時は、顧客数に応じて人員を配置し、閉栓作業等を行うので、DX化が難しい領域と理解している。他のエリアに参入する場合、災害時の人員確保が大きな障害。
- 自律的な供給量確保のためのボトルネックについて、東京エリアでは遊休設備があり、役割分担ができるパートナーがいたことがポイントであった。しかし、これを他のエリアでも進めるのはハードルが高い。
- 参入障壁として一番大きいのは採算性。エリア毎に差があるのが現状。

④事務局からの回答

- システム改革の中で想定されていた役割に立ち返り、現状がどうなっているのかをしっかりと検証していく必要がある理解。
- どういったサービスを提供すれば良いのかについて、旧一般ガス事業者、新規ガス事業者を問わず、重要な課題であると認識。
- 卸については、どのような交渉が行われているか、どのような課題があるか、公平性の観点を含め、監視等委員会とも連携して、議論を深めていきたい。
- 保安、燃料転換に、共通する課題として「連携」というキーワードをいただいたと認識。人手不足、供給設備の部分では非効率な形にならないよう、事業者間の連携の有り方が問われていると理解。
- 燃料転換についても、前提として今後のガス需要がどうなっていくのかをしっかりと把握することが重要。その上で、各事業者の役割や小売事業者としての立ち位置を再確認し、今後の議論に活かしていきたい。